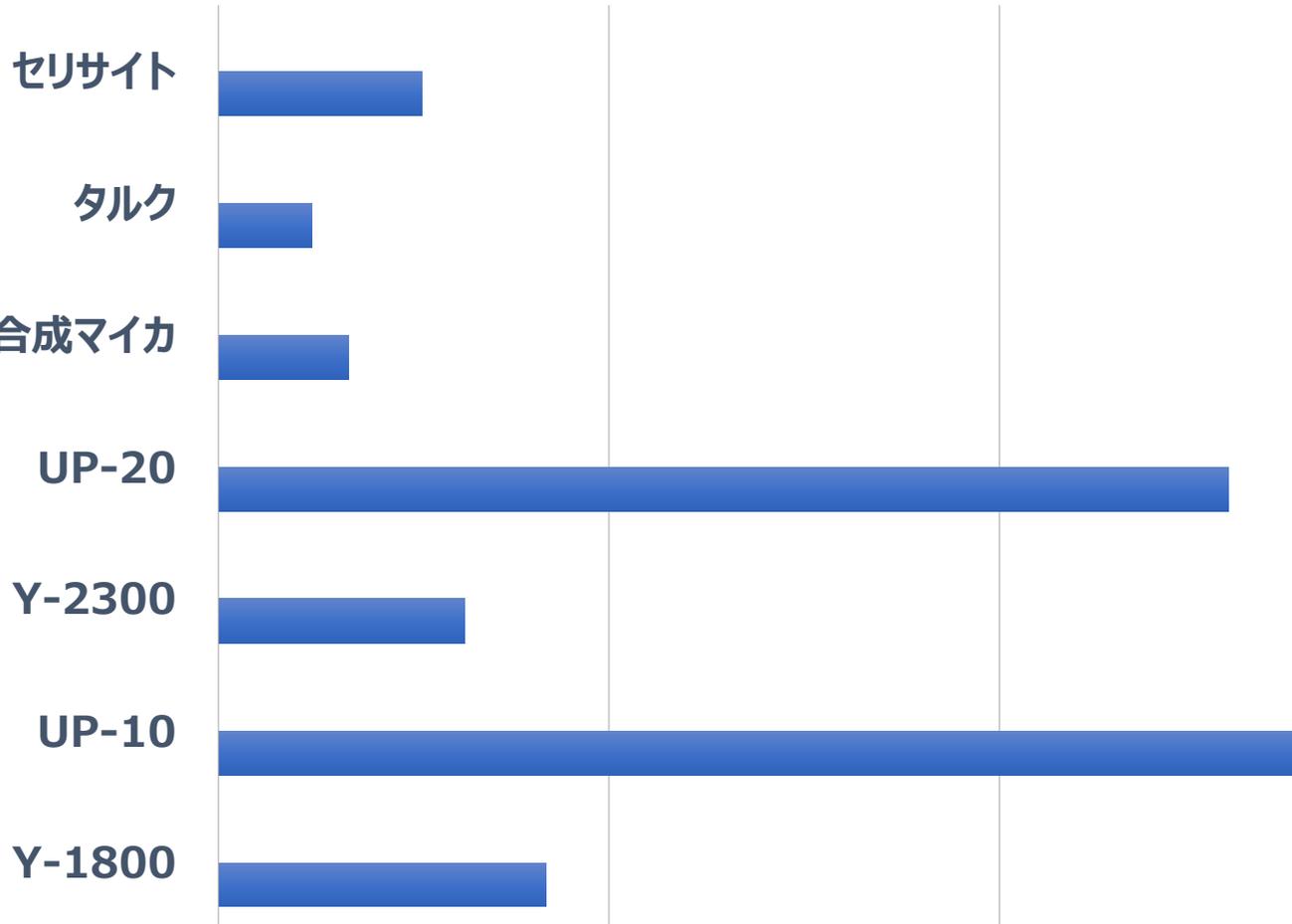
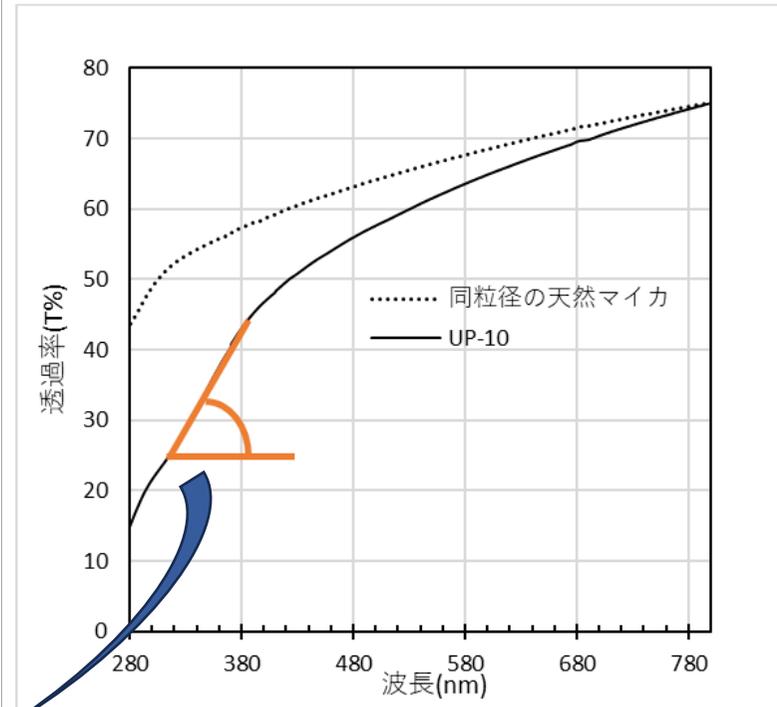


UV領域での透過率低下の大きさ比較

UPシリーズはUV領域で
透過率が大きく低下!!



UV領域での透過率低下比較

パウダーファンデーションでの紫外線遮蔽能

No.	成分名	配合量 (重量%)		
		処方1	処方2	比較処方
1	UP-10	45.5	20.0	0
2	同粒径の天然マイカ Y-1800	0	25.5	45.5
3	球状シリカ	4.8	4.8	4.8
4	顔料級酸化チタン	4.5	4.5	4.5
5	窒化ホウ素	4.8	4.8	4.8
6	タルク	8.9	8.9	8.9
7	シリコーン処理微粒子酸化チタン	15.1	15.1	15.1
8	シリコーン処理微粒子酸化亜鉛	3.0	3.0	3.0
9	トリエトキシカプリルシラン処理黄酸化鉄	1.1	1.1	1.1
10	トリエトキシカプリルシラン処理ベンガラ	0.3	0.3	0.3
11	トリエトキシカプリルシラン処理黒酸化鉄	0.1	0.1	0.1
12	ステアリン酸Mg	0.5	0.5	0.5
13	メトキシケイヒ酸エチルヘキシル	6.1	6.1	6.1
14	スクワラン	5.3	5.3	5.3
合計		100.0	100.0	100.0

	SPF	PFA
処方1	34	10.94
処方2	26	9.09
比較処方	22	8.18

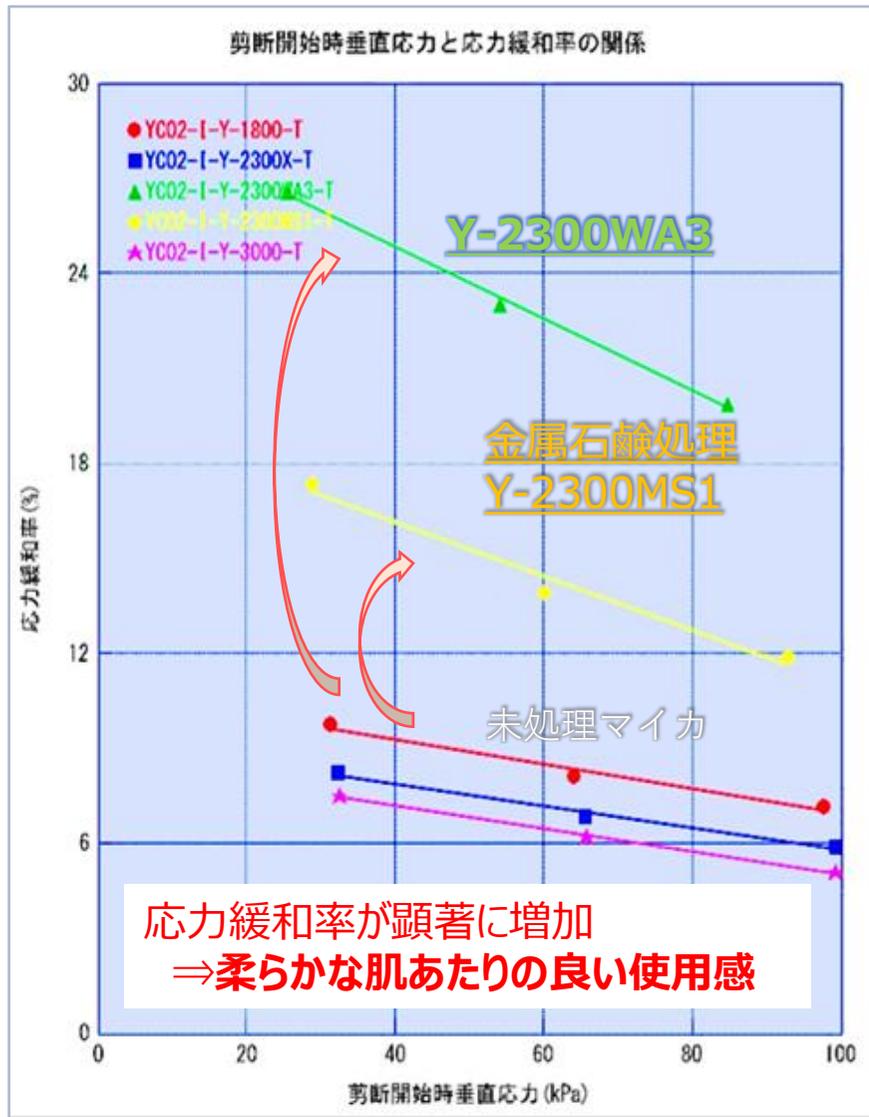
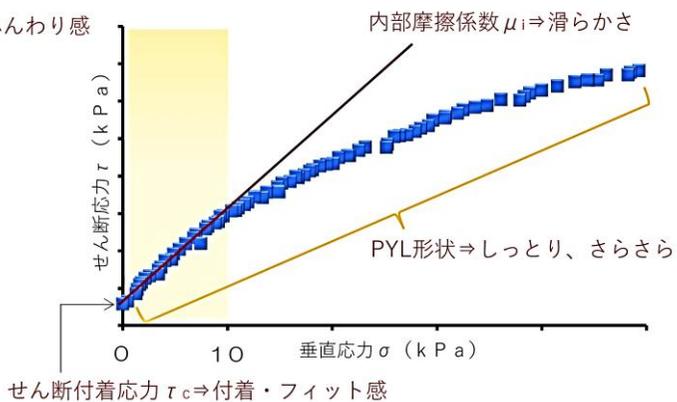
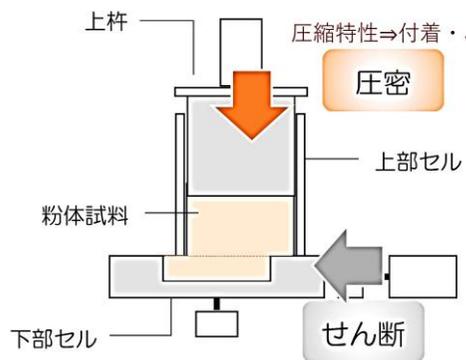
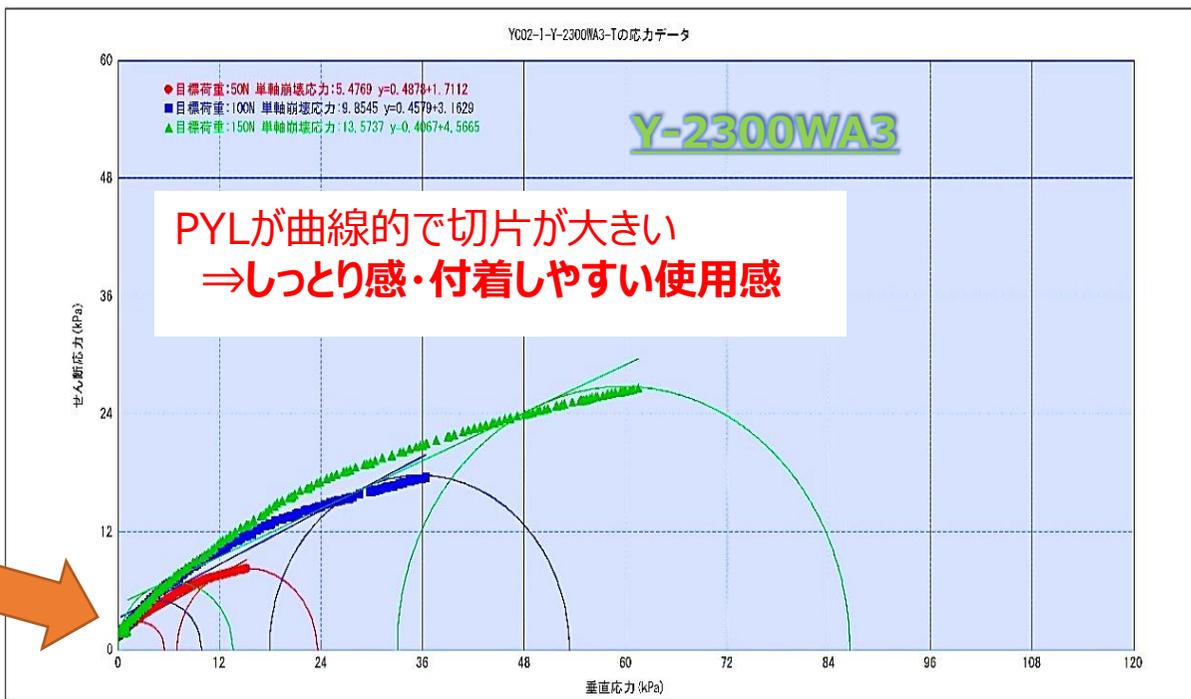


化粧品用 SPFアナライザー
Labsphere UV-2000

UP-10使用により
紫外線遮蔽効果
アップ！！

アモジメチコン処理の特性

測定データ (PYL)	YC02-1 測定結果	粉体層内径: $\phi 43$	垂直荷重: せん断荷重	Nano Seeds Nano Seeds Corporation
-------------	-------------	------------------	-------------	--------------------------------------

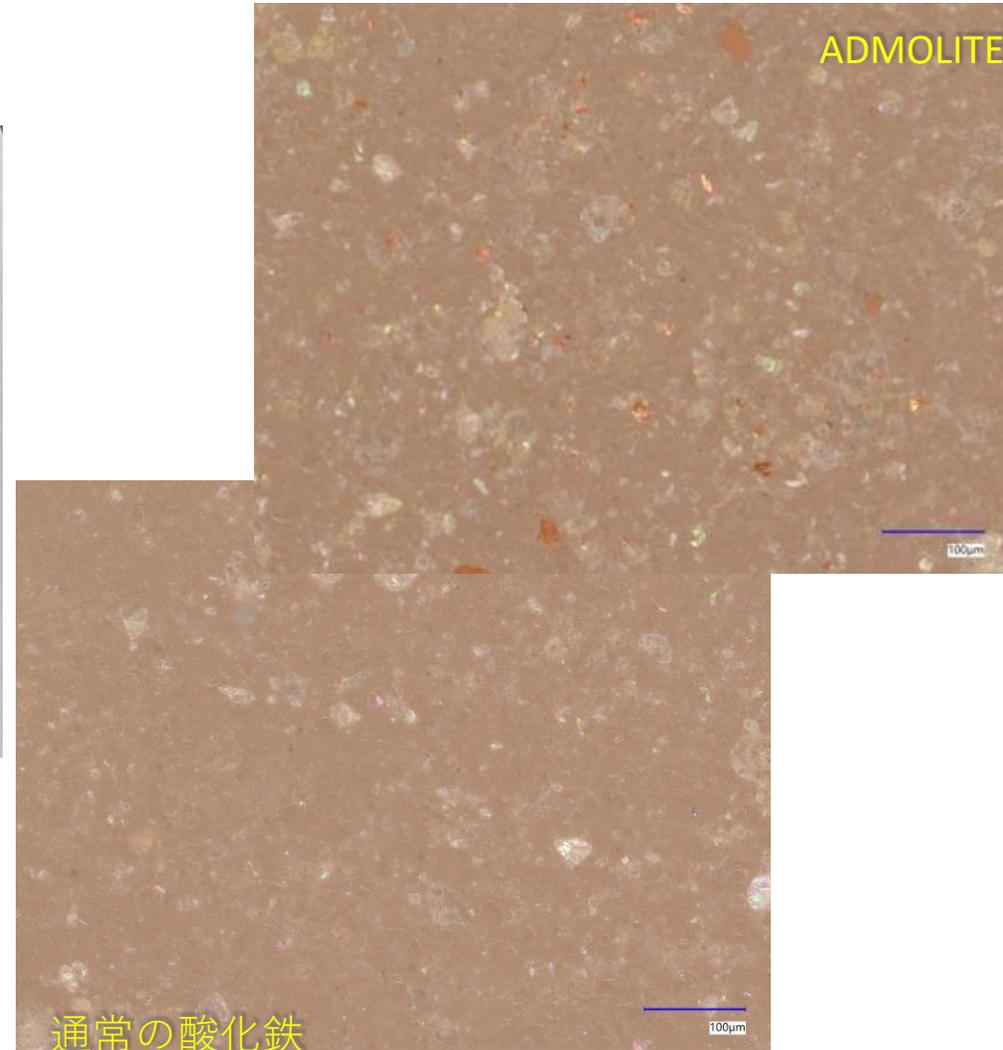


水フアンデーシヨンの発色

~実際の処方系での発色比較~

通常の酸化鉄

ADMOLITE



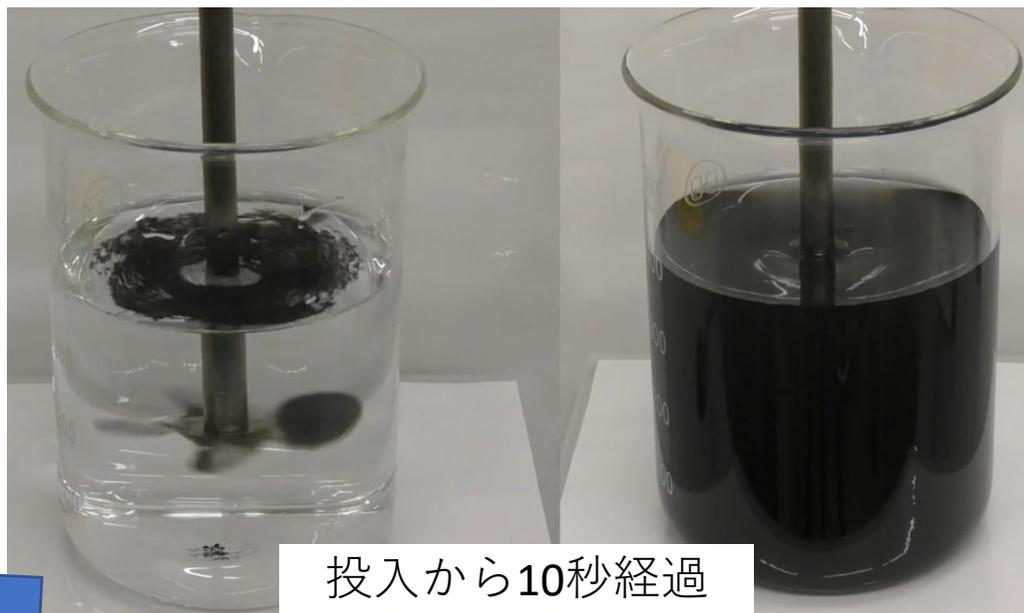
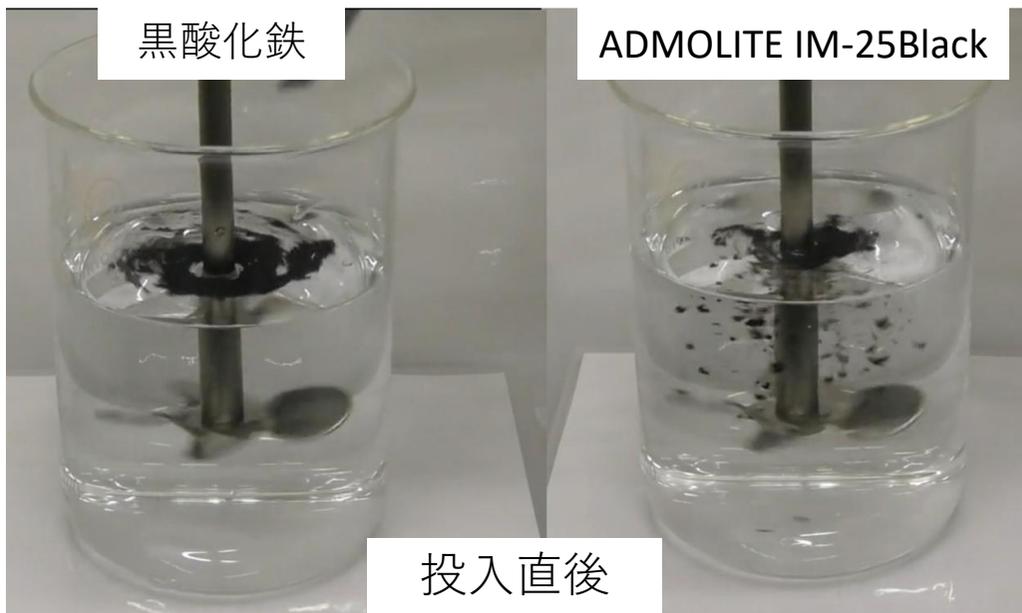
より大きな粒子の色材が点在して、製剤の色調よりも塗布色は彩度の高い発色を示す

⇒ **点描効果**

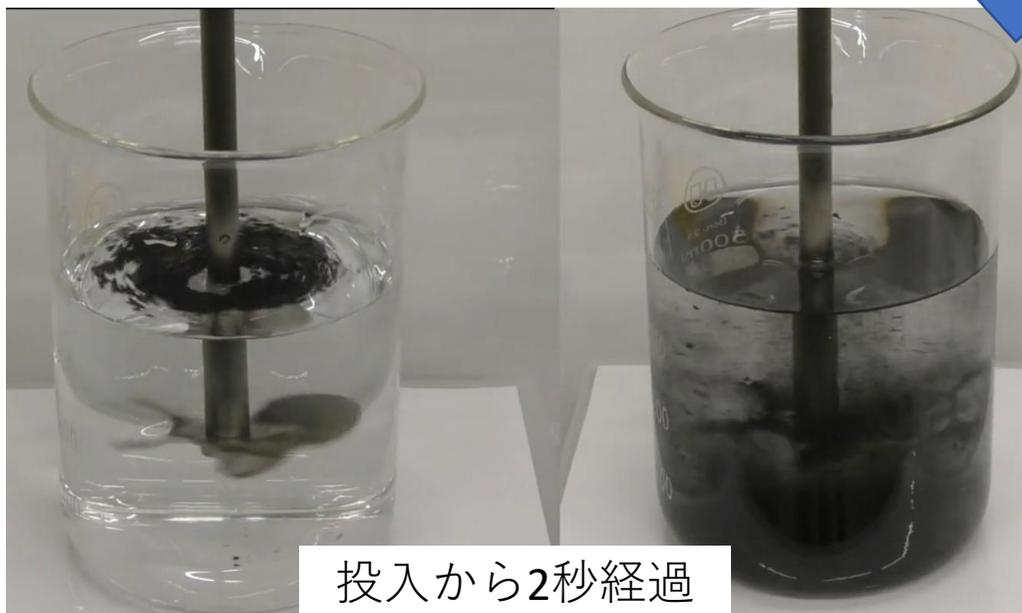
干渉パールのように光を表現する加法混色ではなく、**減法混色に基づく色彩効果**に依存

容易な分散

～水中分散の比較～



0.5g Sample to 400mL Water at 150rpm



黒酸化鉄

水面に浮いている状態が続いた。

ADMOLITE

投入直後から分散し始め、10秒経過後には全体に分散した。

ADMOLITEの方が分散性に優れる。



株式会社ヤマグチマイカ

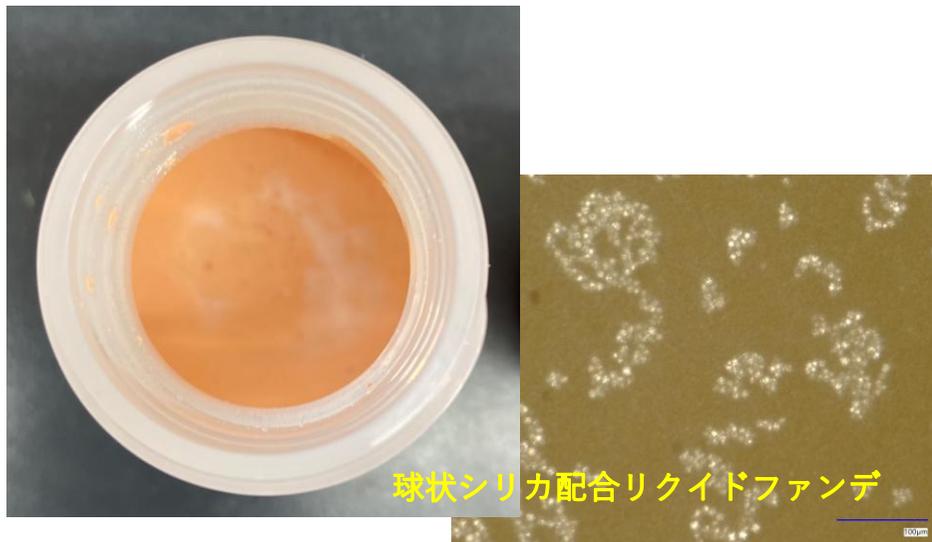
何故PSG-05WA5？

W/O乳化系で、有機系球状粒子をシリカに置き換えた場合や仕上がり改良のためパール剤を処方した場合など、保温やサイクル試験で**経時安定性が低下したことはありませんか？**

これらは、未処理の粉体や表面処理が不十分な粉体表面における粒子同士の凝集や、その表面界面活性剤の吸着による分散や乳化の不安定化によるものです。

PSG-05WA5は、

- ・シリコーン処理とアミノ酸処理の両方の使用感
 - ・表面張力の低いエタノール水溶液でも濡れにくい表面処理欠陥の少なさ
- 等があり、**使用感と安定性を改善**します。



E-MIX WP&OP

E-MIX WP&OPは簡便にO/Wエマルジョンクリームを調製するためのプレミックス原料です。
水相・油相のそれぞれに用いるプレミックスペア原料。

OP

ペンタステアリン酸ポリグリセリル-10

ステアリン酸グリセリル(SE)

水添ナタネ油アルコール

スクワラン、植物性スクワラン、
流動パラフィン

WP

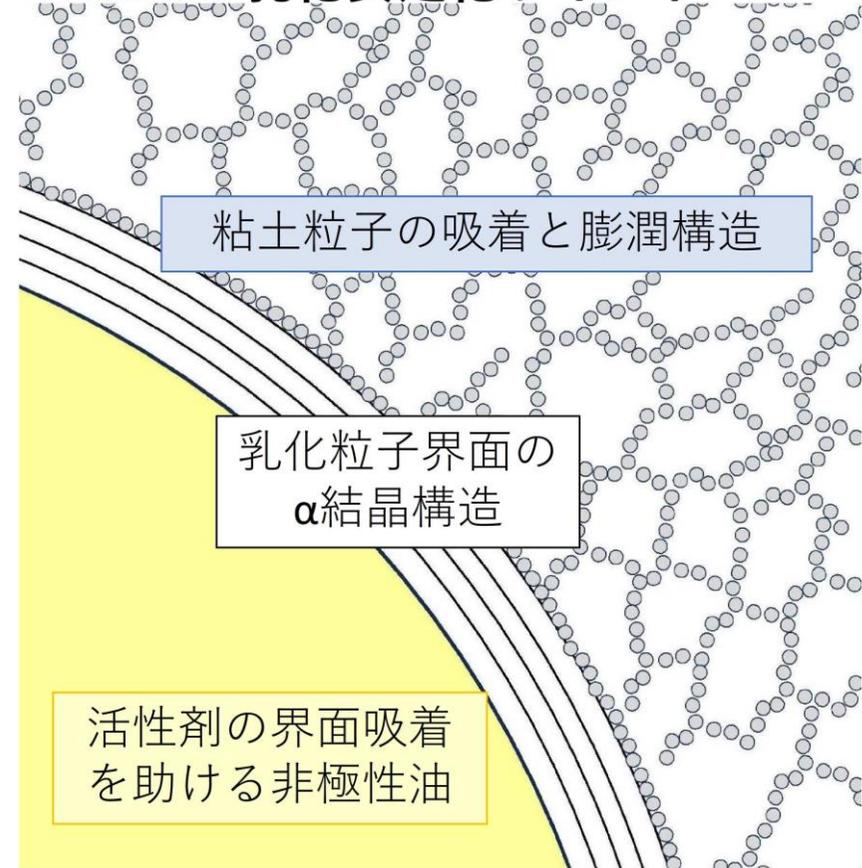
BG

イソステアリン酸ポリグリセリル-10

ケイ酸(Al/Mg)

水

E-MIXの乳化安定化ポイント



このエマルジョン系は、スメクタイトとHLBの低い界面活性剤の吸着による複合体形成と、高級アルコールがつくる α 結晶によって安定化されています。

基本的なサンスクリーン・クリームファンデーション処方例

原料		サンスクリーン			UV クリーム ファンデーション
		ケミカル	ケミカル+Ti	ノンケミ	
油相	OP7	15.00	15.00	10.00	15.00
	メトキシケイヒ酸エチルヘキシル	10.00	7.00	-	-
	ジエチルアミノヒドロキシベンゾイル安息香酸ヘキシル	3.00	3.00	-	-
	微粒子酸化チタン分散体*1	-	-	10.00	-
	微粒子酸化チタン分散体*2	-	-	-	8.00
	精製水	46.50	43.50	46.50	40.56
	WP4	15.00	15.00	15.00	10.00
水相	BG	10.00	8.00	8.00	8.00
	メチルパラベン	0.30	0.30	0.30	0.30
	キサントガム	0.20	0.20	0.20	0.20
	微粒子酸化チタン水分分散体*3	-	8.00	-	-
	微粒子酸化亜鉛水分分散体*4	-	-	10.00	-
	ファンデーションマッド*5	-	-	-	17.94
	合計	100.00	100.00	100.00	100.00

50℃1週間経時観察



緩みや分離の無い安定なクリーム

- * 1 : SA-UT-A40ININ(55%)MiBrid Dispersion (三好化成)
- * 2 : SA-UT-A40(三好化成)/ノムコートTAB(日油) = 1/1混練物
- * 3 : DIS-AB-10W(堺化学)
- * 4 : DIF-AB-33W(堺化学)

* 5 :	ADMOLITE IM-25Yellow(ヤマグチマイカ)	3.86
	ADMOLITE IM-25Red(ヤマグチマイカ)	0.54
	ADMOLITE IM-10Black(ヤマグチマイカ)	0.04
	CR-50(石原産業)/UP-10(ヤマグチマイカ) = 3/2	13.50
	合計	17.94

使用感によるマイカセレクション

滑らかさ
とれ
フィット感

光沢・透明感
吸油性
ふんわり感

スタンダードマイカ

薄片化マイカ

湿式粉碎
分級

焼成・酸処理

光沢・透明感
吸油性

滑らかさ
フィット感
しっとり
ソフトタッチ

マイルド湿式粉碎
分級

表面処理



グロスマイカ

各種表面処理

特にアモジメチコンはシリコンの滑らかさとアミノ酸系の肌あたりの良さがあります。

製品名	平均粒子径 (μm)	平均アスペクト比	白度	光沢	高密度 (g/ml)	備考	
マイカ	Y-1800	10	65	85	10	0.15	ベースメイクに適したクリーミーでマット感のある微粒子品
	Y-2300X	19	70	83	11	0.17	ツヤ控えめな微光マイカでベースメイクに最適
	Y-3000	23	80	82	12	0.24	自然な散乱反射光でベースからポイントメイクまで使用可能
	SA-310	26	80	82	14	0.20	微粉をカットした光彩豊かで滑らかな使用感の良い製品
	SA-350	40	80	80	19	0.22	主にポイントメイクに使用される銀光強いマイカ
	FA-450	28	80	80	20	0.23	高い光輝性があるマイカ
	GFA-50	50	60	76	23	0.34	グリッターのようなギラギラした正反射光の強い大粒径
薄片マイカ	NCF-322	24	100	70	13	0.15	吸油量が高く、表面活性を抑えた焼成品
	TM-10	10	100	77	17	0.12	高い高密度と密着性のある薄片微粒子マイカ ^o
	TM-20	18	120	76	18	0.14	超薄片で高い密着性と透明感がある最もアスペクト比が高い
UV 遮蔽マイカ	UP-10	10	65	-	-	0.15	10%以上配合することで SPF と PFA の底上げが可能
	UP-20	20	70	-	-	0.12	10%以上配合することで SPF と PFA の底上げが可能
タルク	CT-30	10	20	92	4	0.27	微粒子タイプの親水性タルク
	CT-35	17	20	91	5	0.44	サラッとした感触で白残りが少ない親水性タルク
	CT-250	30	20	92	8	0.71	硫酸バリウムのように重く、PMM のように流動性が高く、とれがよい
	EX-15	15	20	94	6	0.51	滑らで柔らかなクリーミーな感触のある超精製親水性タルク

* 上記製品は弊社の代表的な製品で、それ以外の製品をお求めの場合はご相談ください。

* 上記製品に社内で表面処理したタイプもご提供することが可能です。

* 上記の値は代表値で保証値ではありません。

 株式会社 ヤマグチマイカ

(お問合せ先) 営業課

TEL : 0533-72-2188

FAX : 0533-72-5157

E-mail : sales@ymsc.co.jp